

# 地域経済・環境・SDGsをまるごと学べるまちづくりゲームの開発チームで体感できる地域課題の解決

横浜国立大学（池島 祥文、志村 真紀、伊集 守直）

地域課題や地域再生を学ぶための大学講義向けに、地域の仕組みやまちづくりの過程を学ぶためのボードゲームを開発した。日本の地域は多様であり、経済、環境、医療・福祉、教育、都市計画、建築、防災などの分野で課題があり、異なる分野での対策が相互に影響を及ぼすこともある。地域経済学や地方財政論、まちづくりに関する知識を組み合わせ、地域の経済システムを学びながら、複雑な地域課題の解決を目指している。このゲームは、住民、自治体職員、事業者などの異なる立場を考慮し、チームでSDGsや地域の未来について考える設定になっており、総合的な知識を体験することができる。

## 総合知により目指すビジョン / 解決する社会課題

【ビジョン】学生や地域住民がチームを組み、地域経済や行政の仕組みを学び、まちづくりの行動や政策をシミュレートして地域課題の解決方法を理解すること。【目指すべき社会像】ゲームを通じ理想のまちの実現方法を考え、地域の未来に取り組む力を育むこと。

## 参画しているステークホルダー/「矩」を超えた場づくりの工夫

地域経済学、地方財政論、デザイン学の専門家に加え、学生や地域住民等の非専門家がチームを組んで参加。

## 生み出された総合知 / 得られた新たな価値

ゲーム制作に携わる研究者が、授業での利用を想定し連携したこと。異分野でも地域という共通フィールドで多様な知の連携を実現したこと。ゲームが、多様な立場の人々との意見交換や、未来を共に考える場を生み出すコミュニケーションツールとして機能したこと。



# 地域経済・環境・SDGsをまるごと学べるまちづくりゲームの開発 —チームで体感できる地域課題の解決—

まちづくりを「シミュレーション」するためのアクティブラーニング教材  
みんなのまちづくりゲーム in citiesの開発。  
参加型教材で学際的な視野を広げ、社会を実感。



地域経済の  
専門知識



地方財政の  
専門知識



まちづくり全  
般の専門知識

おカネの流れや環境、SDGsを意識したまちづくりを学ぶためのゲームを通じて、複雑な現実を追体験！

複数の研究者による専門的知見を組み合わせたゲームづくり

## \* ゲームプレイから得られる効果

- 1.SDGsとまちづくり：エネルギー／自然災害／レジリエンス／環境問題／政策／地域ブランド／復興
- 2.チームビルディング：アクティブラーニング／ディスカッション／意思決定／ビジョン共有／リーダーシップ
- 3.経済学的思考：地域行財政／地域内経済循環／外貨の獲得／税金／地方自治

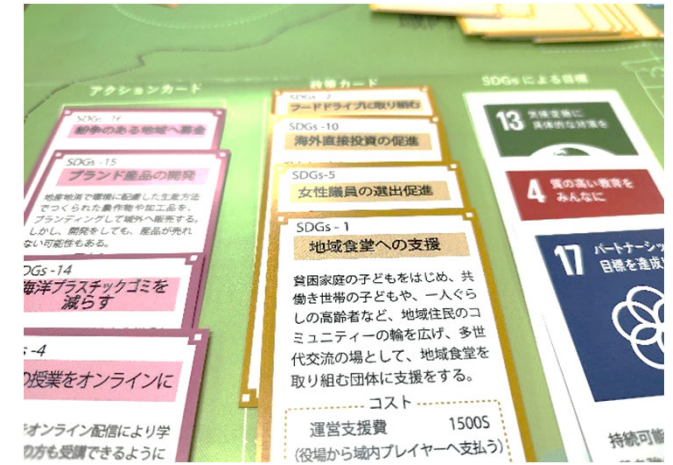


経済、環境、医療・福祉、教育、都市計画、建築、防災など諸分野にまたがる複雑な地域課題への対処方法を提供！

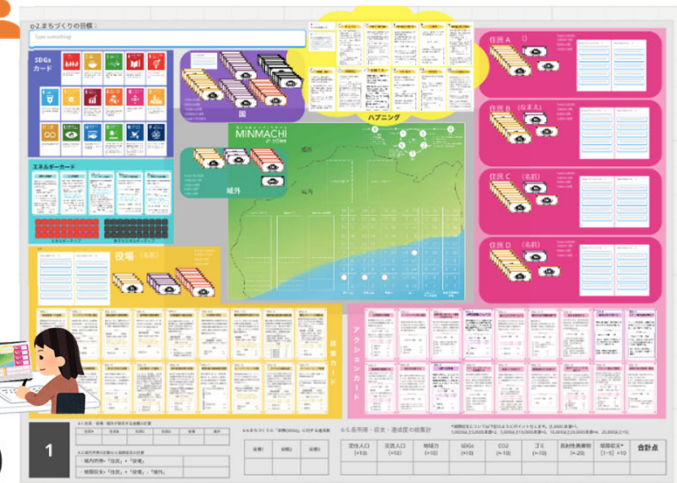
住民、自治体職員、事業者など立場の違いを考慮しながら、チームとして地域の未来を考えることができる！



どのような地域にしたいか総合的に考える



様々なアクションや政策が盛り込まれたカード



コロナ禍中はオンライン版で参加型授業を実施



# 0 まちづくりの目標を決める

コマの配置や役割分担、予算の配布が終了したら、チームメンバーで目指すべきまちの理想を決めます。その際に SDGs の 17 のゴールを参考にして決めてください。



# 1 エネルギーの選択・購入

本ゲームでは住民のアクションを起こすにはエネルギーを必要とします。域外のエネルギー施設（火力・原子力・再生可能エネルギー）からエネルギーを購入したり、自分たちのまちにエネルギー施設をつくることもできます。



# 2 住民のアクション

獲得したエネルギーをもとに各住民がアクションを実施することができます。アクションカードから1枚選び、まちを発展させていきましょう。



## 活用例① 大学での授業教材



# 5 ハプニング

地域にはさまざまなハプニングが起こります。カードを引いてその指示に従ってください。



ハプニングには「悪いハプニング」だけでなく「よいハプニング」も含まれます。どんなハプニングに対しても対応できるように柔軟性のあるまちを作っていくことが求められることにここで気付かれます。

# 1~5までを繰り返す

1から5までのプレーを実施することで、ゲーム内における1年分のプレーが終わります。2年(2ターン目)以降は、「第1ステップ エネルギー選択・購入」に戻ります。ゲーム開始時に決めたプレイ年数が終了した場合は、「第6ステップ：集計」へと移動します。



# 4 議会を開催して政策を実施

チームメンバーで話し合い、まちに必要な政策を実施します。第2ステップ、第3ステップのアクションカード・政策カードは自派のカードも用いられます。一度プレイしたら身近な地域などに置き換えカードを追加するよりリアリティが増します。



# 3 役場による地域の運営

公共サービスの提供やその他の財源確保など地域にとって欠かせない役割を果たします。



# 6 集計

住民・役場などが保有する合計金額や域外のお金との差額などを計算します。またボード上の各指標の獲得ポイントと計算して合計点を算出します。(集計の詳細はゲームブック内にあるので安心ください)



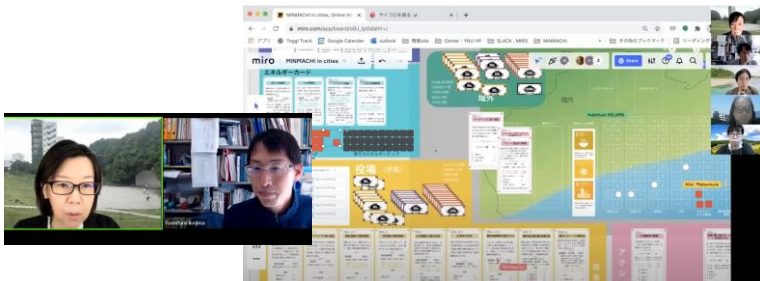
# 7 振り返り

合計点(定量評価)とまちづくりの具体的な内容(定性評価)の結果について、域内のメンバーで評価してみてください。



当初設定した目指すべき地域に近づいたのかどうか、獲得したポイントと、その地域・まちの内容とを踏まえて振り返ってみましょう。

## 活用例③ オンライン教材



オンラインによって、遠隔地からでもゲームが可能に。

## 活用例④ 防災イベント



「防災推進国民大会2023」にあわせて開催されたイベントにて、ワークショップを開催。



## 活用例② 自治体での研修



箱根町役場職員研修として、ゲームを通じてまちの未来を検討。